同、滋賀県蒲生郡中野村を中心に岡田鹿蔵なる者檄文撒布の主謀者として捕はれた。彼は民力涵養を名として、不穏文書を特に横浜村を選んで配布したといふ。七月四日東京では、堺利彦、白柳秀湖等に依つて新橋烏森洋軒楼上に於て社会講談の演説会を催した中、村井知至、津野岩之助、宮崎寅之、安成貞夫、平林初之輔、白柳秀湖、山崎今朝弥、山[illegible]、大江卯、服部浜次、井田秀明氏等其他予七三名集り約二十余名来会して巧みなる宣伝を行つた。又七月一日午前十二時頃に麻布の東京憲兵隊の門内に憲兵隊の銅板の中に同月二十八日から十九日にこれを麻布憲兵隊(官衙)に投ぜよと過激な記せよとの、現代の社会政策を呪つた激文を封入したものが投ぜられてあつた。[illegible]七月十六日福岡市外の一労働者は自ら

外にダイナマイトがあつた事の為に押収引致され、八月総同盟の幹部が受持を後に依頼副の不穏文書を配布したといふ問題となつた。其に社会主義者の一行十五名が北九州を主義化すべく行商に変装して、黄楊の筆を売りつゝ路傍宣伝した事を新聞は報じて居る。秋に到つては近藤事件と高津一派の事件とがあり、其の内容はともかく、宣伝の意味で最も大なる過激思想を考へ記した。其他本年秋は各地に於て目まぐるしい程激文は散布された事を新聞は報じて居る。此に大演習を利用して軍隊内部へと数千枚の激文を送つた者があり、神田を中心に四辻の電柱、自動電話共同便所内等へ四十余種のビラを貼布して騒がした者すらあつた